



地質調査 技術者

技術者

高野 慎也さん (23)

協和地建コンサルタント(株)/入社6年目

見えざる大地の守り人
建造物の安全の礎を築く

地質調査技術者のキャリアパス

(一例)

1~2
年目

ボーリング助手(技師)

ボーリング作業補助

- ボーリングマシン取扱の基礎を学び、作業補助を行う

3~4
年目

ボーリング機長(主任)

ボーリング作業

- 機長としてボーリングマシンを扱い、試料採取及び各種試験等を行う

【取得資格】

- 2級さく井技能士
- 2級土木施工管理技士

5~7
年目

ボーリング機長(主任)

ボーリング作業

- 岩盤を対象とした、深い位置までのボーリング掘進にチャレンジする

【取得資格】

- 地質調査技士
- 1級さく井技能士

8~10
年目

ボーリング機長(係長)

ボーリング作業

- 地盤調査以外にも大型マシンを扱い、井戸掘削・地中熱工事を行う

【取得資格】

- 1級土木施工管理技士
- 地質情報管理士
- 技術士補

11~15
年目

ボーリング機長(課長補佐)

ボーリング作業
部内調整の補助・指導

- ボーリング掘削作業を行う
- 上司の補助及び部下への指導を行う

【取得資格】

- 技術士

16~20
年目

ボーリング機長(課長)

部内調整・指導

- 調査業務及びさく井関係工事について、管理・指導を行う



インドアもアウトドアも満喫!

週末は家でゆっくり過ごし、大型連休には友人と旅行やスポーツ観戦に出かけるなど、アクティブにリフレッシュしています。

休
みの日は
何してる？

地質調査 技術者

について聞いてみた

仕事内容は？

ボーリングマシンという掘削機を使い、地面に穴を掘って土や岩のサンプル(コア)を採取し、地盤の強度や地層の構成を調べます。この地質調査で得られるデータは、建物やインフラの設計・施工に不可欠です。そのため、掘進とともに変化する多様な地質に対し、その都度適切な対応が求められる重要な仕事です。

仕事のやりがいは？

地質調査の仕事は、建物や構造物のように形に残るものではありません。しかし、ボーリングマシンを駆使し、今まで見えなかった地質を採取できた瞬間には、大きなやりがいを感ずります。また、地質によって掘り方が変わるため、試行錯誤する中で様々な知識や技術が身につく、自身の成長につながります。

仕事の大変なところは？

地質調査は、屋外での作業のため、暑さ・寒さ対策は必要になります。また、重い資材を持ったり、不規則な姿勢での作業になるので肉体的な疲労は出ますが、適切な休息をとり安全に作業することを心掛けています。

「地質調査技術者」の
すてきなところ

地質調査は、自然災害を未然に防ぎ、地域の人々が安心・安全で暮らせる街を作るのに必要不可欠な仕事です。様々な地質条件や環境での調査経験を積むことができ、技術者として大きく成長することができます。

